

みなみたね 議会だより

第3回臨時会及び第2回定例会

第178号

発行 令和4年8月11日

- 発行責任者：南種子町議会議長 広浜 喜一郎
- 編集：議会広報編集委員会
- 住所：南種子町中之上 2793-1 電話 26-1111
- 撮影 大谷 義彦 (地域おこし協力隊)

令和4年第3回臨時会が4月28日、令和4年第2回定例会が6月10日～24日まで開催されました。

主な内容

- 一般質問(2名)……………2P～3P
- 論点(第3回臨時会 専決処分及び補正予算審議
第2回定例会 議案及び補正予算審議から)…4P～7P
- 議員発議等について・編集後記……………8P

撮影場所

令和4年6月17日、国の文化審議会により国史跡の
答申がなされた、横峯遺跡から屋久島を望む。

一
般
質
問



濱田 一徳 議員

自衛隊施設誘致に関して

濱田 施設誘致に関して場合によつては条件を付けるべきと考える。全体的なことは一市二町で協議する時期に考えていると思うが町長の考えは。

町長 本町のこれまでの要望活動や協力体制が認められ車両整備工場や車庫、宿舎、ヘリポートの建設等が示された。候補地の決定は、現在調査等も行われており、防衛省より示されるものと思う。場所に対するご意見は防衛省にも伝えているところです。

一市二町の協議については、依然として知事、西之表市長が態度表明がまだないところで、現時点では非常に雰囲気的に難しいと感じている。全島でしっかりと今後を見据え後世に責任を持つ、対策、対応をしていかなければならないというのは私も同じ気持ちである。

観光対策について

濱田 観光客から寄せら

れたご意見に対する対策会議の結果を聞かせてほしい。

町長 観光客から寄せられた要望等で、できることをしっかりと対応していくことは大変重要なことであると考えられる。今回観光協会会長が代わられ、改革をしたいと非常に意気込みを語って頂いた。観光協会職員、行政がしっかりとタッグを組んでいかなければなかなか進まないと思う。

企画課長 熊毛支庁の総務企画課が主体となつて検討会を開催した。島内の交通手段、案内標識、土産品店、飲食店、接遇関係、環境整備等の分野に分けて、寄せられた苦情要望等の対策を協議している。対応できる部分は速やかに対応するようにしている。

濱田 町と商工会がタイアップした観光企画はないか。

町長 特定有人国境地域社会維持推進交付金を活用して、南種子町観光応援プラ

ンを商工会の協力の下、本町独自で取り組んでいる。令和3年度は観光産業緊急支援事業を行った。また、種子島宇宙芸術祭も本年度、町独自で設立した。官公庁の地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業を活用して、町商工会や観光協会南種子支部等と一体となつて観光から移住定住につなげるよう一緒に取り組む方向で調整している。今後も補助事業等を模索して協力頂ける団体とタイアップできる企画等に取り組みたい。

濱田 宿泊施設の不足が心配されるが今後の対策は。

町長 今南種子町で一番の課題であると思う。商工会長とも話はしている。私も県内外の社長さん方には、その時々で誘致の要望等もお伝えしているが、簡単には進まないところだ。いろんな機会とこととに相談しながら話していくことが一番かなと思う。あらゆるな

の方のご意見を頂きながら、しっかりと対応していきたい。

濱田 西海岸に屋久島を眺望できる展望所を造る計画はどうなったか。

町長 西海地区公民館からもトイレ建設の要望があった。トイレのみの建設では補助事業導入にハードルが高い。議員からあった展望所として、場所も含め高台で屋久島が望めるような所を検討しなければならぬと思う。鹿児島県より魅力ある観光地づくり事業というのがあった。この事業での可能性についても調査するよう指示している。

その他 海岸清掃費の一部を若者による磯の海岸清掃に回し若者の出会いの場をつくれないうか質問しましたが、今回は竹崎海岸から大崎海岸で決定しているとのことでした。詳細は省きます。

の方のご意見を頂きながら、しっかりと対応していきたい。



福島 照男 議員

行政評価制度の導入について

福島 なぜ今この制度の導入が南種子町に必要なのかということについては、一番の目的は、現状のままでもいいのかという問題意識を強く持つか持たないかにあると捉えています。行政に一番求められていることは、限られた資源(人と金)でいかに効率よく効果的な施策や事業の推進で町民の行政サービスを向上させ、豊かなまちづくりができるかにあります。

それには現在実施している施策や事務事業の目的を明確にし、目標は数値化して示す必要があります。それにより到達点までの進捗状況がはつきり見え、その成果や効果に対する検証が容易となり、次の改善対策を行うことができます。

町長の行政評価制度導入についての考え方を聞かせてください。

町長 問題意識についてはしっかり持っており、現状維持でいいなどと考えていません。この行政評価の現状は、市や区においては85割ですが、町村では38.9割ですから全国

的に十分普及しているとはいえない状況です。

その背景には行政評価の目的がPDCAのサイクルを確立し、行政運営の効率化や成果を向上し、それにより行政サービスの向上を図ることでありますので、その実効性を担保するための施策や事務事業の実績評価に基づく改善の方針を策定し、これを確実に反映していくことが必要です。具体的な見直し策を実現するためには、予算編成に改善方針を反映させることですが、実際に予算編成に反映している自治体は全国でも4割程度で、鹿児島県下では2自治体だけです。一概に取り組みが有効的に機能しているということではないようであり、現段階において導入は考えていません。

福島 予算へ反映している自治体が少ないのは承知していますが、各自治体による運用の問題だと思っております。そこで第6次南種子町長期振興計画の達成について伺います。

「みんなであつくりの夢・

希望・感動あふれるまちなみたね」となっており、4つの理念を掲げ、本町の行政運営の羅針盤になると示されています。

南種子町の今後の姿が実に良く表現されており、私はいかにすればこの10ヶ年計画書のとおり到我が町が生まれ変わっていくのかと、常々考えています。

そこでたどりついたのが、行政評価制度の導入です。10ヶ年計画の到達目標を起点に、各年度事業に指標を設定し、各年度の結果について評価・検証していけば目標にたどりつく最善の方法ではないかと考えたのですが、町長はこの長期計画にどのような手段を持つてたどり着こうとしているのか聞かせてください。

町長 年度の総括についてはPDCAサイクルの検証・評価を各所管課において実施しており、主要施策の成果として皆様へお示しをし、評価をいただいています。確実な数字で示されないのが足りないのだと思います。

長期振興計画は実現を目

指し当然やって行く方向で予算編成を調整しながら取り組んでまいります。一番は財源をしっかりと確保できるかどうかにあります。

福島 一定の指標を持って取り組むということは、効率的な行政運営・事業運営について最低限必要なことかなと思います。年度予算を組む際にどこを根拠にしてどういう基準で予算を運用しているのか、説明を求めます。

町長 私が考えている基準というのは、財政規律を保持するということです。それを取りながら有利性のある事業導入を積極的に行う、そして財源確保に努めるということが一番重要なことだと思っております。

PDCAサイクルとは…

行政政策や企業の事業活動にあたって計画から見直しまでを一貫して行い、さらにそれを次の計画・事業にいかそうという考え方。

論 点

第3回臨時会

条 例

専決処分案件

●南種子町税条例等の一部を改正する条例

住宅ローンの控除の特例の延長、土地の固定資産税の負担調整措置、民法の改正に伴う規定の整備など。

●南種子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

国民健康保険税の課税限度額の引き上げ、未就学児にかかる医療分及び後期高齢者支援分の均等割額を2分の1に減額するもの。

質疑 軽減措置による年間の金額はどれくらいあるか。

答弁 該当者59名で59万3千300円になる。

予 算

●令和3年度南種子町一般会計補正予算他3件

一般会計及び3つの特別会計について国・県支出金や地方譲与税・特別交付税等の歳入確定及び事業完了による歳出確定に伴い、最終補正を行ったもので、今回一般会計において予算の最終調整により財源に余裕が出たため、財政調整基金へ1億2千710万3千円、減債基金へ、5千万円、農業振興基金へ1億円を積み立てるもの。

一般会計補正予算(第13号)

質疑 結婚祝い金が140万円減額されているが、令和3年度は何組結婚したか。

答弁 13組で実績は260万円である。

質疑 農業費の減額理由は。

答弁 町単独事業の1千617万4千円について国の

事業の3分の2の事業に乗せ換えた形で減額となった。その他についても事業確定ということになっている。

質疑 輸送コスト支援事業、戦略産品輸送コスト事業の減額は基腐病の影響か。

答弁 影響は多分にあった。

介護保険特別会計補正予算(第5号)

質疑 介護給付費居宅サービス費等のマイナス要因は。

答弁 予算が不足しないよう計上して最終的に毎年調整している。

事 件

●普通財産の無償貸付けについて

株式会社川商ハウスとの連携協定に基づき、民間による住宅建設を目的として普通財産を無償で貸付けるもので南種子町中之下字焼野1903番地67の一部506㎡、南種子町中之下字中ノ走1

937番地1の一部629㎡、南種子町中之上字山崎2344番地1の一部447㎡の3筆である。

質疑 3番目の学校用地となっている地目の現状と無償貸付けとの因果関係、整合性について。随意契約の内容として貸付期間、更新の規定、住宅建築の着手或いは完成を、いつまでに履行しなければならぬという条項が規定されている契約(案)になっているのか。

答弁 平成22年に鹿児島県と県有土地建物譲渡契約書を締結し、その中に使用目的等の条項があり、普通財産として処理している。随意契約の理由は性質目的が競争入札に適しないということである。公有財産の管理規則の中で貸付期間は30年間としており、更新することもできるという規定です。着工期日についてはまだ詳細な詰めをしておりません。

質疑 随意契約相手方との契約の内容に建築に伴う履行期限等を協議を見ないまま

質疑 随意契約相手方との契約の内容に建築に伴う履行期限等を協議を見ないまま

というのについて町長の考えは。

答弁 宇宙留学関係、家族留学、そして残られる方やその他にも移住定住の流れ、教職員も町外から住居確保ができていない現状等をこれまで説明しております。南種子町のこの現状を聞いて頂いた中で、私どもの定住の在り方、そして取り組み姿勢を理解して頂いて連携協定を結んでおります。それに基づいて空き地等あれば早急に住宅を造って協力したいという話であり、全然話が煮詰まっていなという訳ではなく早急に取り組むという話を聞いています。焼野と中ノ走については平屋の一戸建てを2棟ずつ、山崎については1棟分を建設したいと伺っている。

質疑 現状で空き家バンクに登録されホームページに掲載している物件数は何棟で、成果としては何棟あるか。

答弁 2棟分であり、改修した分については入居が進んでいる。

質疑 建築には地元企業

を使ってくれるようお願いしたい。

答弁 当然町内の建設業者を使って頂きたいということは既にご理解を頂いている。

質疑 一般の方を対象に貸付けして運用するのか。貸付け後、1年以内とかその年度によって建設していくとか、そういう協議がされているか。

税金が発生するのか。今後このような事例があれば積極的に土地の貸付けをしながら進めていくのか。

答弁 公営住宅を行政で建設することは非常に厳しいと思っている。空き家の改修についても受け入れが全然間に合っていない。

早急に取り組むためには協力いただける民間の方々がおられれば協力を頂くのがスピーディーに対策が取れると思う。今後町有地を今、形として進めているが民地でも御紹介をして取り組みをして頂ける事業者があれば、各地区にも住居を建設してほしいと思っている。議決頂ければ川商ハウスとしては早急に建設に入りたいということであり、

今年度中には一定の解決を出るんだらうと思っている。上中地区よりも各地区の方をどんどん進めたいという気持ちがある。

税金の固定資産については、木造になるか、コンクリートになるか判りませんが昨年度の評価額で2千400万円であれば、税額として34万円程度と試算されている。

予算

令和4年度南種子町一般会計補正予算(第一号)

地方創生臨時交付金を活用した事業と目的基金を活用した事業の追加等に伴うもので、地域まるごと応援クーポン支給事業4千665万円、種子島地区航路・航空路支援金1千万円、新型コロナウイルス感染症病床を有する医療機関従事者への慰労金884万円、4月の要綱改正に伴う公民館施設等整備費補助金300万円、介護員養成研修の費用全額補助162万8千円等が主なもので9千292万1千円を追加し、総額59億3千292万1千円円とするもの。

質疑 サーモグラフィーの設置場所及び公民館施設等整備補助金300万円はこの公民館の整備か。

答弁 サーモグラフィーの設置場所は南ふ頭である。県から自治体も負担してほしいとの要望があり、協議の結果2分の1負担することになった。

公民館費については各公民館の施設の老朽化等維持、管理が難しいという現状から、公民館施設等の修繕を行ううとする公民館に対し補助金の基準を緩和した。予算100万円に300万円を上乗せしたものである。

質疑 医療対策費のコロナ感染症従事者の慰労金884万円は中種子町も出すのか。

答弁 南種子町で負担することとした。中種子町長とは合意していたが、事務レベルでの協議がうまくいっていない。

質疑 保健施設の事業者を募集し、以前1件の申請があったが結果的にゼロ施設と

なった。介護施設への入所の待機者が増える傾向にあるが、今後の待機者解消のためにどのような施策を進めるのか。

答弁 申請があり、審査会に諮問して答申を受け決定した。介護従事者の確保が非常に厳しく、確保の見通しが立っていないかならないという委員からの意見もあったと聞いている。今後色々な問題をクリアして新たにそれが出てきたら、しっかり進められるよう審査をしていくことになる。

質疑 地域まるごとクーポン券の詳細とコロナ介護の助成一人当たりの単価は。

答弁 一世帯当たり1万5千円です。介護員養成研修の補助は一人当たり8万1千400円を20名分計上している。

文書の開示について協議しました。

請求文書の中には、住民の個人情報が含まれていることや現在審議中の案件であったため、令和4年1月19日付けで不開示とする決定をしたところ。

この決定に対し、請求人より不服申し立ての審査請求がなされたことから、情報公開審査会を開催するための予算を計上したものであります。

質疑 議会費の補正の内容は何か。

答弁 情報公開審査会の委員を5名委嘱しております。この方々への委員報酬として、31万2千円、審査会開催のための委員の費用弁償と議長と職員の旅費47万4千円、合せて78万6千円の予算計上であります。

質疑 審査会の会場はどこか。

答弁 この審査会については、県の市町村行政推進協議会の中に設置されておりますので、鹿児島で開催されます。

議会費の予算補正について
町民より情報公開条例に基づき、議会の保有している公文書の開示請求が、昨年12月にありました。議会としては、十数回にわたり全員協議会等を開催し、

令和4年 第2回定例会

●令和3年度南種子町繰越明許費繰越計算書

国の補正予算に伴う事業の交付決定の遅れなどにより生じたもので、20件の事業で翌年度繰越額の総額は2億9千481万円、財源内訳として既収入特定財源2万3千円、未収入特定財源の国庫支出金1億9千229万9千円、県支出金310万円、地方債8千280万円である。

●令和3年度南種子町事故繰越し繰越計算書

小学校営繕事業の2件で、天候不良等により工事が遅れたことにより生じたもので、翌年度繰越額の総額は340万1千円で全額一般財源である。

条例

●南種子町介護保険条例の一部を改正する条例制定

新型コロナウイルス感染症の影響により一定程度収入が下がった人に対する介護保険料の減免を適用する期間の延長を行うための改正。

予算

●令和4年度南種子町一般会計補正予算(第2号)

固定資産評価額の賦課決定についての損害賠償請求事件が結審したことに伴う弁護士委託、子育て世帯生活支援特別給付金事業、観光庁の補助事業を活用した看板商品創出事業に係る費用が主なもの。

ので予算の総額に歳入歳出それぞれ7千10万円を追加し、予算総額を60億302万1千円とするもの。

質疑 河内温泉センター

プール塗装修繕工事に伴う費用対効果は。

答弁 1日平均10名ちよつとである。利用促進に力を入れ利用増を図っていききたい。

質疑 浄化槽管理委託料

の減額補正された要因は。

答弁 入札の結果、不用額が生じたもの。

質疑 有機農業推進協議

会の活動計画全容は。また耕作条件改善事業はどのような事業への取り組みか。

答弁 有機農業を軸とし

た農業振興で地域の活性化を図る。主な活動は有機農業とどのようなものか町民への周知関係を重点的に考えている。

質疑 耕作条件改善事業はサツマイモ基腐病の蔓延防止対策と

いうことで、国庫事業を県を通じた形で対策する事業である。

質疑 種子島宇宙芸術祭

の事業は、看板商品創出事業委託で実施するのか、別事業か。

答弁 看板商品創出事業委託事業で実施する。

質疑 本町共栄線の災害

関係事業の詳細は。

答弁 場所は本町公民館から河内に向かう町道で、現在土砂崩落等があり杭柵工

をしている部分である。

質疑 学校給食センター基本設計業務委託の概要は。

答弁 令和6年度の建設に向けて準備を進めている。

質疑 場所についての検討

は。

答弁 既存の場所は考えていない。本年度の基本設計で詰めていくことになる。

質疑 種子島トンミーの

会郷土芸能出演者謝金について、開催地、日時等の詳細は。

答弁 ロケット祭りと同日

の8月7日午前中に実施する。披露する団体への謝金である。

質疑 県民熊毛地区大会

の日程はどうなっているのか。

答弁 開催の方向で進めている。7月3日、16日、17日、24日に分けて実施する。

質疑 本部はどこが持つのか。

答弁 今年度は南種子町です。

令和4年度南種子町一般会計補正予算(第3号)

国による令和3年度地方創生臨時交付金繰越し分と新たに原油価格・物価高騰対応分として拡充された、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業に係るものが主なので、予算総額を歳入歳出それぞれ61億6千609万7千円とするもの。主なものとしては、子育て

世帯給付金、住民税非課税世帯となった世帯が対象となる

子育て世帯への臨時特別給付金、原油価格高騰等に伴う農業や畜産業者、漁業者への補助金、肉用牛貸付基金への増額積み立て等。

質疑 トイレ洋式化事業の詳細と一般住宅についての方針は。

答弁 浜田の海水浴場、千座の岩屋駐車場、長谷展望公園等のトイレ、シンボルタワー

の所と体育施設については、健康公園多目的広場、健康公園の野球場、前之峯ゲートボール場等、高齢者の利便性を考慮して洋式化を考慮して選定した。一般住宅の水洗化については今後検討していきたい。

質疑 農業用加工乾燥施設支援事業の詳細について。

答弁 燃料等高騰に伴う燃料代の使用量に応じた対策で、施設としては茶工場、葉タバコの乾燥場、コメの乾燥施設等6事業者を対象にした事業。

質疑 農業者支援事業と漁業者支援事業の詳細について。

答弁 農業者支援事業は、肥料、生産資材、燃油等の急激な高騰に対する経営支援。漁業者支援事業は、南種子町漁協協同組合に所属する組合員で、直近1年間の水揚げなどある方の補助事業。

質疑 総体的に予算の項目に出てくるのは子育て世帯への給付であるが、大元は幅広い町内へのコロナ対策に端を発していると思えたときに町

長の考え、意向を聞かせてもらいたい。

答弁 本町においては当初から全戸全世帯に商品券を配布する対策を取って来た。

最初の頃は水道料金の補助もしたし、色々取り組んできた。今回は、農林水産関係が非常に燃料、肥料、飼料、資材等が値上がりしているというところで重点的なものを組んだ。

また、物価高騰等により農家だけでなく子育て世帯であったり、国の方も臨時特別給付金事業も住民税非課税となった世帯に対して色々示されており、そういうことと併せて今回の予算計上となった。

本町は町民、職員からもアイデアを出してもらいながら、住民に直結した形での予

算計上をし、議会で議論して決定している。今後もそういう風な考えで行かなければならないという思いを持っている。

その他

●令和4年度南種子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算他2件

質疑 なし

●令和4年度南種子町水道事業会計補正予算

質疑 なし



発議

発議第4号

国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書の提出について、海事振興連盟からの要請をうけ、第2回定例会会期中に、総務文教委員会が、6月17日全委員出席のもと意見書の内容、提出方法などについて協議し、全会一致で決定した。

国民の祝日「海の日」は、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う。」ことを趣旨として、全国1038万人の署名、約2300におよぶ地方議会の決議を経て、平成7年(1995年)に制定され、平成8年(1996年)から施行されております。

「海の日」は、昭和16年(1941年)に制定された「海の記念日」を基に制定されました。「海の記念日」は、明治9年(1876年)に、

明治天皇が東北地方に巡幸した際、灯台視察船「明治丸」で航海し同年7月20日に、横浜港に無事入港されたことを記念して制定されたものです。また、第1回海の日である平成8年(1996年)

7月20日は、世界の海洋秩序を定め、わが国の排他的経済水域(EZ)200海里の根拠となる「国連海洋法条約」が、わが国において発効した日でもあり、平成19年(2007年)7月20日は「海洋基本法」が施行され、わが国が、新たな海洋立国を目指すことを宣言した日でもあり、海洋国家日本の礎となる「海洋国家日本」を宣言した日でもあります。かつて、7月20日から31日までを「海の旬間」として各地方自治体では様々な行事が、活発に開催されておりましたが、ハッピーマンデー化以降は、様々な行事が出来なくなってきました。全国の多くの公立学校

が夏休みの開始を7月21日としていることを考えれば、7月20日に固定した方が、夏休みと絡めて、連休の効果が大きいと考えます。



「海の日」を毎年7月20日に固定することにより、国民一人一人が海をめぐる様々な状況に思いを馳せ、「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う。」という「海の日」の趣旨に思いをいたす機運を盛り上げることが極めて重要であることから、又地域振興の見地から、南種子町議会でも、地方自治法第99条の規定により、内閣総理大臣に意見書を提出しました。

今年、最短の梅雨明けとなりました。それもつかの間、台風4号の発生です。種子島には上陸しなかつたものの、これから稲刈りという時の襲来。耕作者の皆さんは不安なことだっただと思います。これから台風シーズン、早目の対策が必要です。

編集後記

6月定例会。6月16日に開会され、町提出議案すべてを可決、6月24日に閉会致しました。

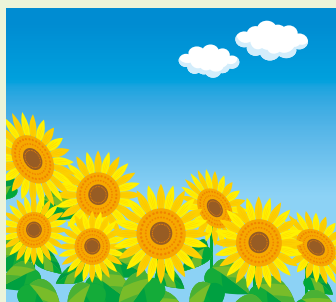
感染対策を充分にして参加したいものです。

今年の梅雨は、わずか16日間、最短の梅雨明けとなりました。それもつかの間、台風4号の発生です。種子島には上陸しなかつたものの、これから稲刈りという時の襲来。耕作者の皆さんは不安なことだっただと思います。これから台風シーズン、早目の対策が必要

又本町の横峯遺跡、国の文化審議会の答申がなされ秋頃、正式な指定となり熊毛地域の国史跡指定は2例目になります。歴史、文化財の観点から歴史の1頁に、刻むことになるでしょう。今後の活用が期待されます。

季節の変わり目です。体に充分注意し夏を乗り切りましょう。

議会広報編集委員会
(文責) 塩釜 俊朗



新型コロナウイルス発生の影響で、出来なかつた南種子町ロケット祭りは、10月開催予定で久々の開催です。感染症防止対策を講じた上での実施という事です。町民も待ち望んでいたのではないでしうか。